

平成24年度当初予算 危機管理監室主要施策の概要

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
・東日本大震災を踏まえた防災対策の充実強化 (1) 災害被害の最小化に向けた官民の取り組みの強化		
・ 防災訓練費	1,265	防災総合訓練の実施(輪島市内) 大規模災害を想定し防災関係機関と地域住民等が一体となった訓練
・ 災害危機管理アドバイザー設置費	731	災害発生時の対応や平素の危機管理への専門的助言など
・ 自主防災組織強化対策費	14,800	地域防災リーダーとなる防災士の育成 13,120千円 ◎防災士倍増計画・女性防災士3倍増計画 H23:1,500人(うち女性100人) → H28:3,000人(うち女性300人) 防災士のフォローアップと防災士相互の連携強化 200千円 ◎自主防災組織活動マニュアルの作成 480千円 組織の活動内容の充実と一層の組織化促進 自主防災組織アドバイザーを活用した組織化促進 200千円 組織化啓発研修会や未結成の町内会への派遣 自主防災組織交流大会の開催 800千円 各種防災体験や交流を通じた防災技能・知識の向上
・ 津波避難対策費	1,800	県民津波フォーラムの開催 800千円 ◎津波避難対策の支援 1,000千円 市町の津波ハザードマップ作成に対する技術的支援 モデル地区で行う実践的な津波避難訓練への支援
・ 総合防災情報システム等管理運営費	165,322	総合防災情報システム管理 68,496千円 防災行政無線(地上系・衛星系)等管理 96,826千円
・ いしかわの消防団充実強化費	5,000	装備の充実 3,500千円 ◎救助資機材・安全装備品等の整備に対する助成 技能の向上 645千円 ◎消防団員救助技術向上セミナーの開催 ◎女性消防団員専門知識向上セミナーの開催 団員の確保 620千円 ◎一斉広報キャンペーンの展開 ◎大学生の消防団活動への理解促進 消防団活動企業理解出前セミナーの実施 子ども消防学校の開催 地域との連携 235千円 消防分団地域連携強化モデル事業に対する助成
・ 消防防災施設整備費	3,100	小型動力ポンプ・救急資機材整備等に対する助成
・ 航空消防防災体制運営費	180,102	消防防災ヘリコプター「はくさん」の運航
(2) 災害に強いまちづくり		
・ 地震災害対策緊急整備事業費	153,933	防災拠点となる県有施設の耐震化 鶴来警察署等5施設6棟

事業名	金額 (千円)	説明
(3) 原子力安全対策の強化 ・ 原子力防災対策費 ・ 環境安全対策費	263,000 228,691	◎原発30km圏内の防災体制の整備 190,000千円 専用回線による市町の緊急連絡網の整備 市町・消防本部への防災用資機材の配備 市町職員に対する原子力防災の研修・講習 原子力防災訓練の実施 〔上記の他、国の4次補正に対応し、3月補正予算で 10～30km圏内にモニタリングポスト15基増設〕 ◎県の防災体制の強化 73,000千円 固定型衛星電話の整備による国との連絡網の強化 地域防災計画の策定に向けた避難シミュレーションの 実施など 環境放射線監視機器の整備 86,133千円 監視結果を表示するモニターの増設など 環境放射線監視業務 139,101千円 原子力環境安全管理協議会の運営 3,457千円
(4) 東日本大震災の被災者支援 ・ 避難者に対する支援	51,480	民間賃貸住宅を借り上げ、応急仮設住宅として無償提供